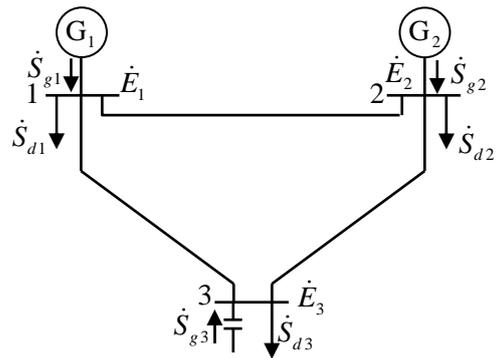


3.7 電力方程式

3 ノード(バス)系統図と用語

- 電力潮流: 電力の流れ
- 母線(バス): 電力潮流を切り換える線
- ノード: 回路の分岐点, 発電機, 変圧器, 送電線などが接続される
- ブランチ: 2箇所のノードを結ぶもの



2 ノード系の電力方程式

$$\dot{I}_1 = \dot{y}_1 \dot{E}_1 + \dot{y}_{12} (\dot{E}_1 - \dot{E}_2)$$

$$\dot{I}_2 = \dot{y}_{12} (\dot{E}_2 - \dot{E}_1) + \dot{y}_2 \dot{E}_2$$

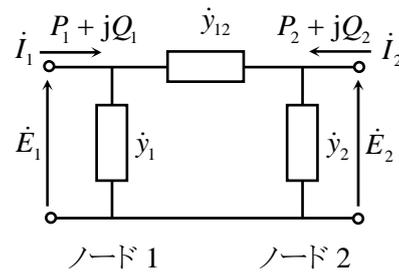
ここで, $\dot{Y}_{11} = \dot{y}_1 + \dot{y}_{12}$, $\dot{Y}_{22} = \dot{y}_2 + \dot{y}_{12}$

$\dot{Y}_{12} = \dot{Y}_{21} = -\dot{y}_{12}$ と置き換えると

$$\dot{I}_1 = \dot{Y}_{11} \dot{E}_1 + \dot{Y}_{12} \dot{E}_2, \quad \dot{I}_2 = \dot{Y}_{21} \dot{E}_1 + \dot{Y}_{22} \dot{E}_2$$

\dot{Y}_{11} : ノード 1 における駆動点アドミタンス

\dot{Y}_{22} : ノード 1-2 間の伝達アドミタンス



ノード 1 における電力は

$$\begin{aligned} \dot{S}_1 &= P_1 + jQ_1 = \dot{E}_1 \bar{I}_1 = \dot{E}_1 (\bar{Y}_{11} \dot{E}_1 + \bar{Y}_{12} \dot{E}_2) \\ &= \bar{Y}_{11} \dot{E}_1^2 + \bar{Y}_{12} \dot{E}_1 \dot{E}_2 \end{aligned}$$

$$\dot{S}_2 = P_2 + jQ_2 = \dot{E}_2 \bar{I}_2 = \bar{Y}_{21} \dot{E}_1 \dot{E}_2 + \bar{Y}_{22} \dot{E}_2^2$$

次のように表す

$$\dot{Y}_{11} = Y_{11} \exp(j\varphi_{11}), \quad \dot{Y}_{22} = Y_{22} \exp(j\varphi_{22})$$

$$\dot{Y}_{12} = Y_{12} \exp(j\varphi_{12}), \quad \dot{Y}_{21} = Y_{21} \exp(j\varphi_{21})$$

$$\dot{E}_1 = E_1 \exp(j\theta_1), \quad \dot{E}_2 = E_2 \exp(j\theta_2)$$

$$\theta_1 - \theta_2 = \theta_{12}, \quad \theta_2 - \theta_1 = \theta_{21}$$

$$P_1 + jQ_1$$

$$= Y_{11} E_1^2 \exp(-j\varphi_{11}) + Y_{12} E_1 E_2 \exp j(\theta_{12} - \varphi_{12})$$

$$P_2 + jQ_2$$

$$= Y_{21} E_1 E_2 \exp j(\theta_{21} - \varphi_{21}) + Y_{22} E_2^2 \exp(-j\varphi_{22})$$

$$P_1 = Y_{11} E_1^2 \cos \varphi_{11} + Y_{12} E_1 E_2 \cos(\theta_{12} - \varphi_{12})$$

$$Q_1 = -Y_{11} E_1^2 \sin \varphi_{11} + Y_{12} E_1 E_2 \sin(\theta_{12} - \varphi_{12})$$

$$P_2 = Y_{22} E_2^2 \cos \varphi_{22} + Y_{21} E_1 E_2 \cos(\theta_{21} - \varphi_{21})$$

$$Q_2 = -Y_{22} E_2^2 \sin \varphi_{22} + Y_{21} E_1 E_2 \sin(\theta_{21} - \varphi_{21})$$

有効電力と無効電力に分けて, 2 ノード系統の電力方程式が得られる。

変数は各ノードの, P, Q, E, θ で 8 個
方程式は 4 個

簡単のため駆動点アドミタンス $\dot{Y}_{ii} = 0$ で、ノード 1-2 間のインピーダンスのみを考える。 P_1 は

$$P_1 = Y_{11}E_1^2 \cos \varphi_{11} + Y_{12}E_1E_2 \cos(\theta_{12} - \varphi_{12})$$

$$= Y_{12}E_1E_2 \{ \cos \theta_{12} \cos \varphi_{12} + \sin \theta_{12} \sin \varphi_{12} \}$$

ここでノード 1, 2 の電圧の位相角の差 θ_{12} : 小で、ノード 1-2 間の抵抗 $R \ll X$ では

$$P_1 \approx \frac{\theta_1 - \theta_2}{X_{12}} E_1 E_2$$

$$\theta_{12} : \text{小より } \sin \theta_{12} \approx \theta_{12}, \quad \varphi_{12} = \tan^{-1} \frac{X_{12}}{R_{12}} \rightarrow$$

$$\varphi_{12} = \frac{\pi}{2} \text{ とおいた。また, } E_1 = E_2 = 1 \text{ pu ならば}$$

$$\theta_1 - \theta_2 = X_{12} P_1$$

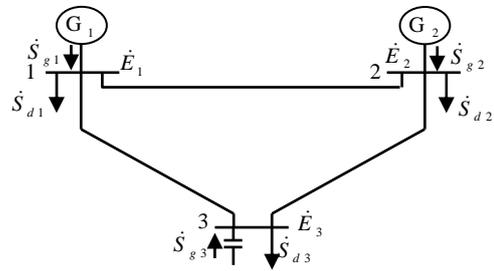
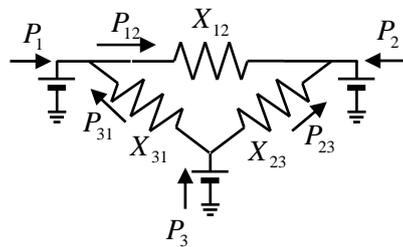
オームの法則 $V = RI$ と対比すると、 $P - \theta$ の関係を直流回路で解くことができる。

$$\theta_{ij} \rightarrow V$$

$$X_{ij} \rightarrow R$$

$$P_i \rightarrow I$$

簡略化した等価回路



ループ内系統変更時の潮流変動

右図で、系統内の1ブランチが非接続となった場合: インピーダンスは $x \rightarrow 2x$

潮流はテブナンの定理から、初期状態では

$$P_0 = \frac{\theta}{x_0 + x}, \quad \text{変更後は } P_1 = \frac{\theta}{x_0 + 2x}$$

$$\text{よって } P_1 = \frac{x_0 + x}{x_0 + 2x} P_0$$

